

出前演奏会がやってくる!

1

東通中学校

6月30日に開幕する青い海と森の音楽祭の開幕を飾るアウトリーチ（出前演奏会）。8人の音楽家が東通村、弘前市、青森市の学校や施設を訪ね、音を届ける。その日を待ち望んでいる人たちの声を紹介する。

「子どもたちにとって最高の贈り物になる」。そう話すのは東通村の奥島涼子教育長。村では毎年、演劇など芸術鑑賞教室を企画してきた。「ただ今回は（村の）招待ではなく、来てくださることに大きな意味を



泉 希良さん 三國 暖芽さん

きっと素晴らしい体験に



青い海と
森の
音楽祭

感じている」と話す。

東通村は保幼小中一貫教育を推進しており、こども園、小学校、中学校が隣接している。各施設は渡り廊下で行き来ができ、交流も盛んだ。6月30日の出前演奏会には小学校高学年と中学校全校生徒計237人が参加する。

小学校には、2023年度にクラブ活動から地域移行した「東通音楽クラブ」があり、4、6年生13人が在籍。むつ市から講師を招き練習に取り組む。同クラブの三國暖芽さん（6年）は普段はもっぱらユーチューブで「音楽鑑賞」しており、クラシックの演奏を聴くのは初めて。「想像がつかないけど、きっと素

晴らしいものになるってことは分かる」

もう一人、心待ちにしているのが東通中の吹奏楽部に所属する泉希良さん（2年）だ。同部の在籍は9人。小さな所帯ながら泉さんにとって音楽は「心を震わせてくれるもの」。演奏を通じて「一つになれた」という感覚に尊さを感じるといふ。泉さんも生の演奏を耳にするのはほぼ初めて。「東通を最初の演奏場所に選んでくれてうれしい。音楽家の皆さんが演奏する上で大切にしていることを直接聞いてみたい」

奥島教育長は「願っても得られないような機会。子どもたちは素直な心で何かを感じてくれるはず」と期待を寄せている。

（加藤桃子）

※連載は5回続きます。

7月3日のサンロード青森以外のアウトリーチは一般公開しません。